

(別紙5) 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26 - 150

補助事業名 平成26年度 航空機工業の国際標準化推進に関する補助事業

補助事業者名 一般社団法人日本航空宇宙工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

現在、航空機では欧米が主体となっているが、そこへ積極的に世界に我が国の技術を売り込むため、共通基盤としての委員会がある ISO/TC20 及びその下部組織の ISO/TC/SC1,9,10 及び IEC/TC107 に我が国は積極的に参加し、我が国の意見を反映させる。

これは、欧米のデファクト戦略に対抗するためにも重要である。具体的には上記 ISO 及び IEC から回付されてくる規格案・規格見直しなどに対して、我が国の産業界等の意見を取りまとめ、国際規格回答原案を作成・投票・国際会議への参加を行う。これを以て機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 国際会議への参画

- ・ ISO/TC20/SC1「航空宇宙電気系統」委員会出席 (IHI 廣西、小糸 澤田、シンフォニア太田、SJAC 藤貫)
平成26年8月25日～28日北京 (中国)
- ・ ISO/TC20/SC10「航空宇宙用流体系統」委員会出席 (櫻護 謨松井、SJAC 藤貫その他委員のほとんどが出席)
平成26年10月29日～31日東京 (日本)
- ・ IEC/TC107「航空用電子部品のプロセスマネジメント」総会出席
(日立 伊部、京都工織大学 小林、SJAC 藤貫)
平成26年9月30日～10月2日サンホセ・ドスカンポス (ブラジル)

② SJAC 委員会等の開催及び投票状況

- ・ ISO/TC20 (航空規格戦略検討委員会)
平成26年7月16日、平成27年3月3日、計2回開催
規格投票14件

- ISO/TC20/SC1
平成 26 年 6 月 13 日、8 月 7 日、10 月 23 日、平成 27 年 1 月 23 日、計 4 回開催
規格投票 1 件
- ISO/TC20/SC9
平成 26 年 7 月 23 日、11 月 19 日、平成 27 年 2 月 18 日、計 3 回開催
規格投票 5 件
- ISO/TC20/SC10
平成 26 年 6 月 19 日、10 月 15 日、平成 27 年 1 月 14 日、計 3 回開催
規格投票 10 件
- IEC/TC107
平成 26 年 6 月 16 日、9 月 11 日、9 月 30 日、平成 27 年 2 月 3 日、計 3 回開催
規格投票 2 件

③ SJAC 会報誌による広報

- 航空と宇宙 平成 26 年 11 月号にて
「ISO/TC20/SC1 「航空宇宙電気系統」 国際会議報告」
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201411/20141107.pdf>
- 航空と宇宙 平成 26 年 12 月号にて
「IEC/TC107 「航空用電子部品のプロセスマネジメント」、
ISO/TC20/SC10 「航空宇宙流体系統」 国際会議報告」
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201412/20141208.pdf>
<http://www.sjac.or.jp/common/pdf/kaihou/201412/20141210.pdf>

2. 予想される事業実施効果

国際標準化活動への参画は、我が国の優位が確保できるよう或いは不利とならないようにする為に、継続的に行う必要がある。そのためには、継続的な国際回答原案作成、投票活動の実施、継続的な国際会議の出席が必須となる。特に航空機分野では、我が国は後発の立場であるため、欧米に比べ手順を踏んで主張をしないと理解をしてもらえず、提案が採用されない。そのためにも積極的な活動が重要である。

これらの活動について、TC20 関連すべての国際会議及び TC107 国際会議への出席の達

成及び投票活動の実施を行うことが出来、目標は達成できた。

また、各々の会議に於いて、我が国での問題点の提示及び規格への反映を進め、特に ISO/TC20/SC1 では 1 件の国際規格発行（ISO 13832:2013 「銅クラッドアルミ、アルミ電線の一般性能要求に関する規格」）、及び WG3(我が国がコンビナー)にて ISO/FDIS 27027 「半導体電源遮断器の一般要求に関する規格」が発行された。

加えて新規 WG15"LED Power light"が設定され、我が国がコンビナーとなりあらたな「LED タキシー灯」に関する設計・計測規格の制定を目指すことになった。

IEC/TC107 では WG4 「空中放射線」において、新たな線源である陽子、ミューオンなどのについても考慮が必要であることを指摘し、これに基づき新規規格制定を進めることで合意し、2 次放射線の技術仕様についてリーダーを我が国が務めることになった。本件については投票の結果、技術仕様作成にすすむことが決定した。これからも活動に参画することで日本の航空産業界として世界に引き続き貢献する。

3. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (一社)日本航空宇宙工業会(ニホンコウクウウチュウコウギョウカイ)

住所： 〒107-0052 東京都港区赤坂 1 丁目 1 番 14 号

代表者： 会長 ^{カマ} 釜 ^{カズアキ} 和明

担当部署： ^{ソウムブ} 総務部

担当者名： 部長 ^{ウスイ} 臼井 ^{ツトム} 勉

電話番号： 03-3585-0511

F A X : 03-3585-0541

E - m a i l : usui@sjac.or.jp

U R L : <http://www.sjac.or.jp>